

目 次

第一章 米欧関係の中のドイツ —— 歴史的文脈で考える(佐瀬 昌盛).....	1
1. 問題の設定 — ドイツだけが経験則の軌道を外れた.....	1
2. 固定的「西方結合」の終り.....	2
3. 分析の手段—「政権年表」と「対4大国関係国」.....	3
4. シュレーダー政権と「歴史の負債」.....	16
5. シュレーダー政権と「4大国との関係」.....	17
6. 大変化の構造的、および内生的原因.....	19
7. 「過度親密」な独仏関係の「詩と真実」.....	22
第二章 米国ユニラテラリズムとフランスの矜持(片岡 貞治).....	29
はじめに.....	29
1. イラク戦争を巡る米仏対立.....	30
2. フランスのジレンマ.....	41
3. 新しい米欧関係の行方.....	42
第三章 対テロ・イラク戦にみる対米協力(勝股 秀通).....	49
はじめに.....	49
1. アフガニスタン・不朽の自由作戦.....	50
2. イラク戦争と復興支援.....	53
3. 対米協力の行方.....	54
おわりに.....	56
第四章 プーチンの対米外交 —— “Bandwagon” と “Balance” の間の漂流 ——(木村 汎).....	59
1. 政権就任後18か月間の “Balance” 外交.....	59
2. 9.11以後の “Bandwagon” 外交.....	61
3. イラク戦争戦後——“Bandwagon” 外交プラス “Balance” 外交.....	62
4. 一貫性欠如の理由.....	64

5. 政治社会学的な基盤	66
6. 下院選——民族主義の台頭	67
7. 戦略的パートナーシップの変質か？	69
8. “Balance” 外交を濃厚に	70
第五章 EUの共通防衛政策と米欧関係(小久保 康之)	75
はじめに	75
1. 次期EU拡大の特徴と課題	75
2. 2003年のEUにおけるCFSPの主な活動	78
3. EU憲法条約草案に見るCFSPの強化	80
おわりに	82
第六章 欧州共同防衛調達と戦略産業政策(鈴木 一人)	87
はじめに	87
1. 欧州における安全保障能力の必要性	87
2. 欧州に欠如している能力	88
3. 能力問題の争点	91
4. 欧州レベルでの共通装備調達	94
5. EUの役割	98
まとめ —— 米欧関係へのインプリケーション ——	101
第七章 ブッシュ政権の反テロ戦争と軍事力の「変革」(鈴木 祐二)	111
1. 「9.11テロ事件」の衝撃	111
2. 反テロ戦争の「第2段階」	112
3. 1990年代の軍事力再編計画	114
4. 2001年のQDR	116
5. 米国の軍事力「変革」の行方	119
6. 結びにかえて	120
第八章 イラク戦争後の米欧関係とイギリス(細谷 雄一)	123
はじめに	123

1. 米欧関係の中のイギリス	124
2. イラク戦争後のイギリス対外政策	127
おわりに	134
第九章 アメリカ外交の潮流(村田 晃嗣)	141
はじめに——ブッシュ外交の逆説	141
1. アメリカ外交の4つの潮流——「神の特別な摂理」?	142
2. 米欧摩擦の背景	144
3. 日米関係の意義と課題	146